

HOHOEMI

30



2021.9. - 2022.8.



国際ソロプチミスト淡路



「2021 年度 会長挨拶」

会長 正本 日登美

2020 年度に引き続き 2021 年度も会長をさせていただき事になりました。今期こそは・・・と思っていたのに、新型コロナウイルスの感染拡大に歯止めがかからない中、第 5 波で 8 月 20 日～9 月 12 日、兵庫県全域が緊急事態宣言対象地域に指定され、2021 年度（第 1 回）9 月例会は Zoom 開催でスタートいたしました。会員の協力で Zoom 例会もスムーズに進み画面の中では笑顔が溢れていたことに私は、ホッと救われました。

今期は、突然の原会員とのお別れ、高津会員の退会と寂しいことが続きましたが、私の中には大先輩お二

人の笑顔がしっかりと残っています。

お二人の分まで国際ソロプチミスト淡路の会員として恥じないよう行動していきたいと思っています。

今までは当たり前だった奉仕活動、チャリティー事業、新春懇親会は残念ながら 2 年連続出来ませんでしたが、その 2 年分を 2022 年度に思いっきり活かしてほしいと願っています。

最後に・・・

～国際ソロプチミスト淡路会員の皆さまへ～

「会長をさせていただきありがとうございました。私にとって、最高に素晴らしい 2 年間でした。」



「淡路信用金庫本店別館 完成祝い」

正本 日登美

2021年11月8日、竣工式が開かれた淡路信用金庫本店別館。津波などの大規模災害時にも業務を継続できるよう、2022年1月にはシステム中枢を担う事務部を本店から移転。市民の避難先としても活用されるというお話を聞き、2021年12月理事会終了後、いつもお世話になっている淡路信用金庫さんにお祝いをさせていただきたいという話になり、12月例会で理事会提案させていただくことになりました。新議題で審議させていただき全員賛成。お祝いを何にすればよいか翌月1月例会にて再審議。12月20日、会長、会長エレクト、副会長の3名で淡路信用金庫本店の石村理事長にお会いさせていただき、別館を案内していただきました。別館の入って直ぐに銀行関係者以外の方々にも利用していただけるために、多目的ホールがありました。石村理事長より「多目的ホールで利用できるホワイトボードをしていただければ有難いです。」との要望をいただくことが出来、1月例会で審

議。全員から承認をいただき、準備を進めました。

2022年1月26日大安吉日に多目的ホールへホワイトボードが納品完了。淡路信用金庫本店 役員の方が5名、笑顔で迎えて下さり、国際ソロプチミスト淡路からの日頃の感謝の気持ちを込め本店別館完成祝を寄贈することが出来ました。石村理事長は所用のため留守でしたが後日、ご丁寧なお礼の手紙とメールをいただきました。

淡路信用金庫さんのますますのご発展を、心よりお祈りしたいと思います。



送金済みのポーランドユニオンよりの報告

プロジェクト「ウクライナの家族のための夕食会」の食事代、一食の値段は約5ユーロ(600円)、5000食に使わせていただきたいと思います。ウクライナの人々の状況は非常に厳しく、プロジェクトは彼らの日常生活に役立っています。



家族への食事提供の様子と、彼らの喜ぶ顔

Facebook: <https://www.facebook.com/Soroptimist-International-of-Poland-261673744036903>

以下は、2022年の復活祭にSIポーランドが実施した、ウクライナの女性と子どもたちのためのアクションの動画リンクです。

Facebook link: <https://www.facebook.com/Knyszczako/videos/704258307286340>

YouTube link: <https://youtu.be/-atuu19pE58>

「ポーランドなどへの

避難民の支援金送金」

三原 潤子

リジョンメールでのお知らせ「ポーランド等への避難民への支援について」を4月例会で新議題として多くの意見を出し合い審議しました。

ウクライナの現状とポーランドに流入する大量の難民を受け、主に女性と子どもを中心とした難民に支援されます。新聞にも掲載され、広報できたことは有意義であったと思います。

「奉仕プログラム委員会」

委員長 森 敦子

今期も新型コロナウイルスの影響で、Zoom 例会からはじまりました。

奉仕プログラム委員会として「親子のふれあい広場」が開催できるかどうか1月に検討をしましたが、やはり親子を集めて開催するイベントはリスクが大きすぎるということでも残念ですが中止することになりました。

その後コロナ禍の中でできることはないかと検討した結果「夢を生きる」の講演会を出前授業として行ってはどうかということになり、蒼開中高等学校に依頼をすることになりま



した。講師は会員の江川関西看護医療大学学長にお願いし、中学1・2年生にさせていただくことになりました。学校の都合もあり2学期に実施予定となり次期に引き継ぐこととなりました。よろしくお祈りします。コロナがどうなるかわからない今、親子のふれあい広場に代わるものとして次につながっていく事業となれば嬉しいと思います。1年間、どうもありがとうございました。

「親子のふれあい広場」が開催され、たくさん子ども達の笑顔を見られることを楽しみにしています。

「ガールスカウト兵庫県第2団」

支援金贈呈



森 敦子

ガールスカウト兵庫県第2団の入団・フライアップ式が4月3日(日)洲本市総合福祉会館で行われました。今年も何とか、入団・フライアップ式の経験をさせてあげたいとの思いから、感染予防をし人数を最低限に短時間でできるだけ従来の形に近づけて行われました。会場の参加人数の制限があり、国際ソロプチミスト淡路からは会長のみ参加となったことは大変残念でした。入団、フライアップのスカウトは旗に誓いを立てたり、目標を言って卵の障子を割ったりすることを行いました。

正本会長から頂いた支援金はスカウト活動のために

有効に使わせていただきますと感謝の言葉を頂きました。継続は素晴らしいことだと思います。



「アワード委員会」

委員長 三根 香南

『バトンを繋ぐ』

委員長を引き継いで2年が経ちました。その間はコロナ禍との戦いでした。そこで実感したことは医学を支える若者、看護学を学ぶ人たちの努力や地位が社会に認められることが大切です。「夢を生きる賞」に応募する意味を今一度、皆様と共に考えたいと思います。



実習もままならぬ時代だからこそその困難を乗り越え、資格を得て実社会において活躍されんことを願うのみです。それは人の命に直結する職業だからです。随って、応募者どなたにも中央リジョンやSIAの賞の対象になり得るとの自負を持って推薦させていただいております。

委員会の次なる目標は大学院で学ぶ学生の研究に目を向けてほしいと切に願いながら、バトンをお渡しいたします。

国際ソロプチミスト淡路クラブ賞贈呈式
次第

日時 令和四年六月九日(十二時~十三時三十分)
場所 淡路信用金庫評議会館(淡路駅前)
司会 淡路信用金庫(淡路駅前) 三原 三恵子

一 開会あいさつ 国際ソロプチミスト淡路会 会長 正本日登美
二 祝 辞 関西看護医療大学 学長 江川 隆子
三 受賞者紹介 SI 淡路賞
大学女子学生・専門学校女子学生支援金 福島 夢香様
SI 淡路賞 関西看護医療大学 看護学部看護学科二年 岡崎 芽衣様
SI 淡路賞 関西看護医療大学 看護学部看護学科二年 福島 夢香様
四 国際ソロプチミスト淡路賞贈呈
賞状・副賞の授与 会長 正本日登美
五 受賞のことは 関西看護医療大学 看護学部看護学科二年 福島 夢香様
関西看護医療大学 修士課程 二年 岡崎 芽衣様
六 閉 会 会長ニレタト 志立としみ

「アワード贈呈式」 =SI 淡路賞=

大学女子学生・専門学校女子学生支援金
(リジョン夢を生きる賞)

関西看護医療大学 看護部看護学科

二年 福島 夢香さん

大学院女子学生奨学金

関西看護医療大学 修士課程 二年 岡崎 芽衣さん



「国際親善と理解活動委員会」

委員長 岡田 恭子

大きな名称の委員会名にいつもたじろいでいます。委員の皆様にも助けられながらも、いろいろなジレンマを抱えて成果の見えない一年でした。長引くコロナ禍の中、収束後、世界も淡路島も大きな



変化の時代に入り、ますます国際感覚が必要になってくると思います。次年度も同じ委員会で活動しますが、身近な外国の方の情報収集をしていきたいと思っております。

ご協力宜しくお願いいたします。

「柳学園 S クラブ支援金贈呈」

スポンサーシップ委員会

委員長 仲野 弘子

8月6日(土)柳学園 S クラブ支援金贈呈のため、学校法人柳学園蒼開中学校・高等学校ジャズバンド部の会議室に伺いました。

今現在、中学生は1年～3年生、高校生は1・2年生の総勢22名です。高校3年生は勉強に励んでいるそうです。

8月20日は、神戸文化ホール大ホールで開催されるジャパンスチューデント・ジャズフェスティバルに出場予定のため、皆様演奏の練習を一生懸命頑張っています。

正本会長がご挨拶で温かいお言葉をかけて、贈呈式が無事に終了しました。



一生懸命に演奏される皆様の将来が楽しみです。

「柳学園 S クラブ」

33rd Xmas Fun Fun Concert

泉 栄子



2021年12月25日、毎年恒例の蒼開中学校高等学校ジャズバンド部によるクリスマスコンサートが洲本市文化体育館ホールにて開催されました。8月、ジャ

ズの甲子園 SJF の審査はコロナの影響でビデオ審査となったそうです。審査結果は、団体賞：神戸市民文化振興財団賞、特別賞：ヤマハ賞。それは、全国で4位である証ともなる素晴らしく栄えある受賞です。

コロナ禍の下、合奏出来る時間も少なかったと思いますが、個人が自主練習に励み、勝ち得た賞だと思います。

受賞曲、「Pa'lante Pa'gozar 2020」の演奏は、ルンバのリズムの明るい曲で、個人賞を受賞したリズムパートのみなさんも自信に溢れ、とても楽しんで演奏されていたのが印象的でした。

「財務委員会」

委員長 大継 淳子

目まぐるしく変異するコロナウイルスの中クラブの行事が色々と中止となりました。

財務委員会は例年通りのスケジュールで進めて参りました。大切なクラブの子



算を9月の収支予算書(案)、5月に暫定収支予算書(案)を作成してクラブで審議して頂きました。作成にあたり北平会長エレクトをはじめ委員会の皆様には大変お世話になりました。今期1年間の財務委員長を終えてホッとしております。

「規約決議委員会」

委員長 山岡 仁美子

当委員会は、規約を正しく理解しクラブ細則・手続・財務規定など見直し、必要があれば改正案を作成し提案します。今期は前委員長より引き継いだ見直しの作成をと考えておりました。しかし長引くコロナ禍の中、中央リジョンでは、リジョン大会や委員会構成などの改正が採択され、それに伴いク



ラブも改正案が審議され、コロナ禍の6月の例会で決されました。大幅にずれ込み当初予定をしていた冊子に纏めるまでは適わず、次期委員会に引き継ぎをお願いしました。他にリジョンメールの説明やミニスピーチ等させて頂きましたが、少しでも規約に馴染んで頂ければと思います。一日も早いコロナ禍の収束を願うばかりです。

「SOLT 委員会」

委員長 濱 裕子

SOLT 委員会の任務は、(Solo Optmist Orientation Leadership Training の頭文字をとって SOLT) 会員教育と指導者養成です。

SO・・・会員教育

◎ミニスピーチを毎月各委員長に以前に原稿を頂き、それを例会で発表していただきました。

◎新会員入会5年未満会員研修は、高島会員がいらっ



しゃいましたが、日程の調整がとれなくて行えませんでした。

LT・・・指導者養成(リーダーシップトレーニング)

次期理事会、次期委員長の研修を SOLT-BOOK に添って勉強しました。

◎訂正箇所もあり、各自、自覚をもって任務を果たしてほしいと私も含めて思いました。

「メンバーシップ委員会」

委員長 江川 隆子

今期のメンバーシップ委員会のメンバーは、三根委員、三原担当理事、江川です。目標は会員の維持と増強に努めることでした(3名)。残念ながら、コロナ禍の中で簡単に折衝することはできませんでした。しかしながら、この苦境下において一番大切なことは相互理解と会員数の維持であると思っています。



そして、この状況を縫って開催された10月14日の移動例会後の新旧理事慰労と激励会では、出席委員会との合同で<幻のオリンピック招致の立役者永田秀次郎氏のDVD鑑賞・懇親会>をもって久々の会員の親睦の場となりました。

来期は、コロナ禍の収束を祈りつつ、新しい委員長の元で会員の増強に努めて頂けることを願っています。

「出席委員会」

委員長 片山 紀子

2021年度出席委員会は、高津信子会員・横井加織会員・片山の3名で発足致しましたが、残念ながら4月に高津会員が体調不良のため、退会となり以降2名で無事仕事を終えることが出来ました。



10月には、淡路インターナショナルホテルザ・サンプラザ様に於き、「永田秀次郎氏」のDVDを鑑賞後、会員親睦のお食事会を楽しみました。

2021年度も第6期コロナ禍発生のため、1月・2月・3月とZoom活用のリモート例会となりました。しかしリモート例会も昨年度期より回を重ねる度に会員も慣れて参り、画面を通し笑顔で楽しみつつの例会となりました。

皆勤出席者は14名でコロナ禍の中でのご出席ありがとうございました。これ等もひとえに正本会長の細やかなお気遣いとお世話、そして会員皆様のご理解ご協力の賜と感謝いたします。

「永田秀次郎 DVD 鑑賞会」

横井 加織

10月例会終了後、例会時の講演会とは趣きを変え、永田秀次郎氏のDVDを鑑賞した。

ソロプチミスト淡路にとっても、なじみ深い同氏のDVDということもあり、興味を持って見入った。

時間も思いのほか早く過ぎ、行政の長としての顔を持つ同氏。はるか昔の幻の東京オリンピック開演に尽

いま、淡路島出身の幻のオリンピック立役者・元東京市長を知る

永田秀次郎顕彰会



力したエピソードは、2021年東京で開催されたオリンピックと重なり、感慨深いものがあった。

講演会で講師の卓話を拝聴するのも良いが、このような鑑賞会も親しみやすく良い機会であると感じた。



「歳入委員会」

委員長 木下 圭子

歳入委員長としての二年間、クラブの資金を得るために皆さんが喜ぶストアーをと思い歳入事業に取り組みました。

色々お世話になるばかりでした。

特に、平川担当理事には、毎回新鮮な野菜を田畑から運んでいただきました。

平岡さんには、おいしいパンをどっさり運んでいただきました。千年一さんには色々サービスをしていただきました。

お寿司の販売はリモートで実現しませんでした。年に数回、歳入事業を行えば会員も喜ぶことでしょう。



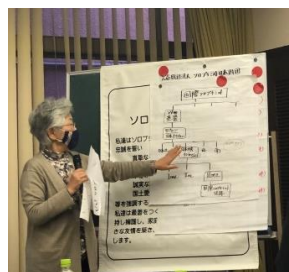
「ソロプチミスト日本財団委員会」

委員長 小谷 恵美子

令和4年度顕彰事業の社会ボランティア賞に、「洲本市更生保護女性会」を応募しました。

この洲本更女会（会員97人）は、地域社会から非行や犯罪を無くし、過ちに陥った人の立ち直りを支援するという理念に沿い、まず子供達が健全に育つように「子育て支援」を20年以上も継続して活動しているボランティア団体です。

今回の書類作成には、洲本更女役員の方々や、県更女連盟会長にも心良く対応頂きました。これも偏にS I 淡路の諸活動の“信頼度の高さ”の現れだと思えました。会員の皆様に感謝申し上げます。



楠 日出子

数年にわたるコロナ禍によって、ソロプチミストとしての活動のほとんどが自粛等で出来なくなり、ソロプチミスト日本財団委員会の活動である、奉仕活動に対する援助や協力、顕彰事業も困難な状況になりました。

しかし、この度、小谷委員長のご発案により「洲本市更生保護女性会」を顕彰事業、社会ボランティア賞に応募することが出来ました。

ひとえに委員長のご尽力のお陰と感謝申し上げます。



「指名委員会」

委員長 正司 昌代

4月に指名委員会が発足し、木下壽子会員、清木なご子会員と私の3名が任されることとなりました。信じていた通り、私たちの指名（お願い）を皆様快く引き受けてくださり、7月の年次会合で『2022年度理事会メンバー就任式・デレゲート任命式』を執り行うことができました。大変感謝しております。一年間、北平会長とともに、SI 淡路のリーダーとしてご活躍されることを心より楽しみにしています。そして、フロアーの私たちも精一杯の協力をもって応援したいと思います。どうぞ宜しくお願い致します。



清木 なご子

今回初めて指名委員を務めさせていただきました。ベテラン会員の方々のご指導のもと、活動を始めましたが、まず感じたことは、指名委員に選ばれたら、すぐに動き始めることが重要だということです。

理事会メンバーの有資格者を選定し、あとはまっすぐその会員さんに向かってアタックします。電話や面会での交渉には、指名委員長の柔らかなそれでいて力強い説得力が必要だということも勉強になりました。

4月から8月末までの短期間の委員会ですが、指名委員の何たるかを教えていただいた時間でした。最後に、お役を快く引き受けていただいた会員の皆様に感謝申し上げます。



「国際ソロプチミスト 100周年を祝う」

5 リジョン記念講演会」

樫本 揚子

日時：2021年11月30日（火）14:00～16:00

於：東京国際フォーラム

国際ソロプチミストは2021年に100周年を迎えました。

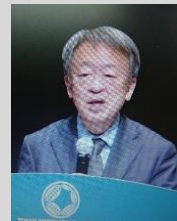
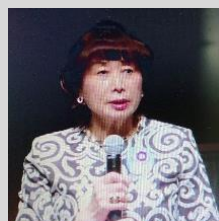
5リジョン合同での記念講演会には、会場参加者206名、オンライン参加者1495名

そのほかオンライン登録された方と一緒に視聴された会員も多数いらっしゃいました。

森田和子 国際ソロプチミストアメリカ会長の挨拶、ベニー・バブ SIA 直前会長のビデオメッセージ、ミッシェル・バーネット本部長兼CEOのビデオメッセージではじまりました。続いて5リジョンガバナーによるディスカッションが行われました。

記念講演会は池上彰先生をお迎えし「コロナ禍の日本と世界をどう生きるか」をテーマにお話しをさせていただきました。

講演会登録料は全額ドリームビッグ・キャンペーンへの寄付として、潮まどかドリームビッグ・キャンペーン委員会日本カントリーマネージャーに目録が贈呈されました。



「リジョン研修会・各府県別交流会」

片山 紀子

2021年10月27日(水) 14:00~16:30 神戸ポートピアホテルにて。兵庫県下の東播・西播・但馬・淡路・北摂の地区にあたる9クラブとリジョンの方々、全体で60名の参加でした。

研修会では、「審議のからくり」「ワクワクする仲間作り」の2つの事柄について内容を深めました。交流会では8テーブル、1つのテーブルに6~8人の各クラブの会員が座り、「今、それぞれが思い描くクラブ運営とは」と題して、各クラブの現状や工夫されている

ことなどが聞けました。当クラブからは、高津会員(高齢でも皆出席)と原会員(ホームに入っても会員であることに誇りを持ち、一生ソロプチミストであり続けたいと語られている)をお話させて頂きました。



「35回リジョン大会アトラクション」

平川 紅仁子

35th Anniversary



2021年11月1日(月) 13:30~16:00

国立京都国際会館メインホール

座席は自由でソーシャルディスタンスを取り一席ずつ空けて着席

「旬を楽しむ!」と題して 一部は「今のあなた年代を楽しむ・おしゃれを」マダムチェリー(福安千恵子)さんと井植ガバナーとの楽しいトークショー交え、帽子やアクセサリをつけての素敵なファッションショーは会場が華やかになり豊かな気持ちになりました。自分を大事に慈しむ時間をつくり、日々心がけ人生をゆたかに過ごす。

二部は「音の喜び 音楽を楽しむ・元気を」タケカワユキヒデさんの楽しいトークと共に、ガンダーラ、モンキーマジック、銀河鉄道999、ビューティフルネームなど次々と懐かしいヒット曲を鑑賞し、とても楽しく元気を貰った一日でした。

「2021年度分科会」

谷村 雅美

5月11日 第36回リジョン大会分科会が神戸ポートピアホテルにて行われ、参加させて頂きました。【女性と女児の貧困、整理の貧困 ~ 今、わたしたちにできること】について、大阪府男女共同参画推進財団 理事・本部長 仁科あゆ美氏に講演して頂きました。「女性を取り巻く35の数字」相対的貧困の意味するところなど、データを挙げながら現状を説明して頂きました。生理の貧困という言葉は初めて耳にし、スマホを持ち化粧品も買える女性と女児が、どうして生理用品の購入が困難なのかを説明して頂き、驚きを隠せませんでした。講演会のあと、私はFLクラブとの活動及び海外へ

の支援のワークショップに参加させて頂きました。テーブル毎に別れてフリートーキングをし、各クラブが海外でどのような支援を行っているかについて情報交換をしました。各クラブの奉仕活動によって、女性と女児の生活に大きな変化がもたらされている事が実証され、とても刺激を受けました。



「第36回リジョン大会」

木下 壽子

2022年5月10日 第36回リジョン大会が神戸ポートピアホテルで国際ソロプチミスト和歌山紀南のホステスクラブで開かれました。開会宣言に続き国歌斉唱黙禱でこの1年間に亡くなられた会員の中に当クラブの原 節子会員のお名前もありました。



来賓は齋藤元彦兵庫県知事、森田和子連盟会長、ミシェル・バーネット連盟本部長の方々でした。信任報告日本中央リジョンクラブ数120ク

ラブの内 108 クラブ出席 出席者総数993名でした。

森田連盟会長の挨拶の中でリジョン大会は1年に1度、リジョン内の全クラブ、会員が集い、一年の活動報告、次年度への体制づくりをする最重要審議を行う機会であります。

リジョン大会に多くの方の参加が出来ればと思いました。

2022年度日本中央リジョン一般会計、奉仕特別会計、特別予備資金会計の収支予算書(案)を全員で原案通り可決しました。

リジョン理事会メンバーは全員賛成で選出されました。時期ガバナーは岡野 路子様です。

「チャリティー公演&バザー」

(SI大阪-なにわ)

濱 裕子

2021年12月1日、シェラトン都ホテル大阪に於いて、SI大阪-なにわ チャリティー公演会&バザーが開催されました。参加者は、正本会長と濱です。

当日は、322名の出席者で、10時30分~バザーがあり、収益金は、地域社会の奉仕活動に使われるということでした。私もお正月用グッズを家族に何点か購入いたしました。

公演会は、藤山直美さんのトークショーでした。美味しい日本料理を頂きながら、2年近いコロナ禍の気

分を、笑いと元気で吹き飛ばしてもらいました。最後にご一緒に写真を撮らせて頂きました。

また、機会があれば、皆さんも一緒にいきましょう。



「ファウンダーガバナーデー」

高津 信子

ファウンダーガバナーはとてこやかでした。写真と同じでいつもほほえんでいらっしゃいました。



明治30年10月6日、宮城県仙台にお生まれになりました。日本リジョンの初代ガバナーで、100クラブ達成に感涙されたそうです。茶道会の今日の隆盛に努力され、ソロプチミストの奉仕活動にもご尽力されました。

「会長エレクトの任を終えて」

北平 としみ

2020年から2021年と2年会長エレクトを受け、また、今回は正本会長・平川副会長そして正司理事と4名が残った理事会となりました。なかなか収束が見えないコロナ禍の中でのスタートでした。でも10月には移動例会ができ、委員会の皆様とホテルのスタッフのご配慮により久しぶりの食事会ができたことは本当にうれしかったです。この状況でいくと、1月の新年例会・懇親会ができる



と、進めておりましたが新型コロナウイルス感染者急増により、急遽特別理事会を設け例会直前でしたがどうするか検討し、新年例会をZoom例会に変更となりとても残念でした。4月からは対面で例会ができ、第36回リジョン大会・分科会もポートピアホテルで開催参加でき、表彰夕食会は沢山の参加者で特にリジョンメンバーの方たちは華やかでした。クラブとしての大きな事業ができず残念ですし、楽しみの新年会・懇親会が共に2年できなかった事が残念でした。

「副会長の任を終えて」

平川 紅仁子

2020年度、2021年度と、正本会長と北平会長エレクトと共に2年間、副会長としての任務に就かせていただきました。

2年を顧みて、コロナ過の中ではありましたが貴重な経験をさせていただきました。クラブとしての大きな事業は開催できませんでしたが、3年ぶりに第36回リジョン大会・2021年度分科会・表彰夕食会を対面式で開催



され一緒に参加することができました。

会合企画委員会委員長としての任務、年間プログラムカレンダー（案）作成についての会員全体の会議は開催できませんでした。理事会メンバー・委員会委員長合同会議も第1回9月、第2回3月にZoom会議となりました。

一番残念なのは、チャリティ事業委員会としての事業がこの2年間で何もできなかったことです。



「セクレタリーの任を終えて」

榎本 揚子

今期セクレタリーの役を受けて、司会進行に議事録作成その他諸々、家での作業もあり時間が取れるか不安に思いながら始まりました。

慣れない司会進行でしたが、会長の十分な事前準備のおかげで、Zoom 例会でも、例会場になっても大丈夫でした。

また議事録も理事会前、ぎりぎりでの作成で、毎回早

く仕上げたいと、思いながらの繰り返しでした。とにかく一年間無事終わられたのはまわりの方のさりげないサポートのおかげです。

ありがとうございました。



「C.セクレタリーの任を終えて」

小川 はるみ

例会のための資料を準備するのが、C.セクレタリーの主な役割でした。

以前は、理事会の資料や会員分のリジョンメールも準備していたようですが、最近は各自でプリントアウトして下さるようになっていましたので C.セクレタリーとしての仕事は随分と少なくなっていたように思います。



ただ今期は新型コロナウイルス感染拡大の影響で Zoom での例会があり各会員へ資料を郵送したのが例年とは少し違った仕事でした。その他には郵便物の整理、回覧の準備等の役目もありましたが、その殆どを正本会長に助けていただき感謝しかないです。

周りの方々に教えていただきながら一年間の任を終えることが出来ました。ありがとうございました。

「トレジャラーの任を終えて」

谷村 雅美

前期で指名委員会の一員だったため、委員長より依頼されたときは、正直不安でしたが、以前アシスタントトレジャラーを受けた事があったので、覚悟を決めて引き受けました。会員の皆様から会費を預り、リジョン・連盟・奉仕事業費の振込、また歳入益金収入の預け入れ等、お金の流れを把握する事が出来て、とても貴重な経験をさせて頂きました。コロナ禍で Zoom 例会も度々ありましたが、そのときのお誕生日の会員のニコニコ箱のお金を、会長自ら動いてプレゼントと

引き換えに集金して下さり、フットワークの軽さに驚くとともに、色んな不安も解消して頂き、感謝しかないです。

この一年間、理事会メンバーの方々にご指導、ご協力して頂いたお陰で、無事に終える事ができました。本当にありがとうございました。



「アシスタントトレジャーとして」

高島 久美子

一年間、アシスタントトレジャーとして、理事会メンバーに加えていただき、ありがとうございました。

私は、ソロプチミストの活動を何も知らずに、入会させていただきましたので、入会してびっくり。皆さん必ず何かのお役をされていて、しっかり議事録を作られたり、年間スケジュールやいろいろな決まり事をきっちりと把握しておられたり、そしてその上、周りの人たちに対する思いやりも忘れ



ない。またご自分のご趣味等もしっかりされる。

私は未だにまだ皆さんのバイタリティーに圧倒されっぱなしで、ついて行くのがやっとです。理事会の一員と言ってもアシスタントでしたので、仕事は全てトレジャーの谷村さんがなさってくださいだったので、本当に私は、お側で見させていただいたようなものですが、改めてまた『パソコンできないとだめだな。』と思いました。

一年間、ありがとうございました。皆さんお世話になりました。

「一年を終えて」

理事 正司 昌代

正本会長を中心に、ベテラン、中堅、若手とバランスよく構成された理事会メンバーのお陰で、和気あいあいとした楽しい一年を過ごさせていただきました。対面での理事会、例会は出来るようにはなったもののコロナ禍での活動は難しい現状でした。それでも、責任感の強い会長は、許容範囲の中で要請を受けた会に積極的に参加して下さいました。また、例会欠席の会員には自ら資料を届け、周りの人たちへの気配りも凄

いものでした。

真摯なる友情を切に感じ、またソロプチミストの会で、人として大切なことを得ることができた偉大さを、素直に感じる事ができた一年でした。

本当にありがとうございました。



「一年を終えて」

理事 三原 潤子

今期一年の理事をお引き受けして、「理事の役割」を考えると緊張しました。

実際久しぶりに理事会に入ってみると、ベテランの方々は全体を見てカバーされ、また、若い方々は役職をきっちりこな



されて頼もしく、さらに、正本会長はリーダーシップと優しさで良い雰囲気ので会をスムーズに進めておられ皆が助け合い、支え合い、温かくて良い理事会運営を行っていると感じました。

ありがとうございました。

「ゴルフ同好会」

武田 須也子

「最高の一日に感謝」

孫達が来た時ぐらいしか、ゴルフ場へも行くことが無くなったと思っていましたら、平川様から「好きな時に打って、打ちたくない時は、休んで良いから一緒に行こう！」と同好会コンペに誘っていただきました。

5月20日は、程良い曇り空のゴルフ日和。久しぶりにティグランドに立つと懐かしく、『以前はあの大きな2本の木まで飛んでいたなあ！』と思いながら、一打



目を打つと、思いの外よく飛んでいってくれたのです。感激でした。その後は、薫風に吹かれ、カートに揺られて、お休みタイムなど好き勝手にさせていただいたお陰で、大きな肩の荷を下ろしたかのように、身も心もスーッと軽くなりました。

素晴らしいパートナーに恵まれ、世界中どこにもない気ままなゴルフをさせていただき、ありがとうございました。感謝。

次回もお誘いいただけるよう、時々、フィットネスバイクをふんで足を鍛えておきます。



「俳句同好会」

平岡 恵子

「俳句入門をさせて頂いて」

先生にご指導に賜り入門したのが、令和元年にはじまり、本当に一からの出発でした。

日本の古くからの素敵な言葉、伝統、行事、鳥や草花の名前、多くの事を知り学ぶことができました。まだまだ知るべき事は沢山あります。

俳句の世界は、無駄な言葉をなくし、限られた言葉数の中で、自然とその情景が思い浮かぶ、それがいかに難しいか試行錯誤の日々です。

家族の出来事で一句、海を見て、朝日、夕日を見て一句、目で見て感じた事、素直にこれからも俳句に取り組みたいと思っています。



季語と五七五の中で、素晴らしい句は感動を与えてくれます。一句でもそうした句を作れたら幸いです。

| | | | | | | | | | | | |
|-------------|---------------|-------------|----------------|--------------|--------------|-----------------|---------------|-----------------|--------------|--------------|-------------|
| 母子草咲いて少年兵の墓 | 母が庭の主役となりて百日紅 | 海風や長さを異に藤の花 | いっしんに子が吹きにけり風車 | 川音は日暮れを誘ひ小米花 | 初蝶の予科練の墓低く飛び | あかがねの屋根に降り継ぐ花の雨 | 青嵐の辞世の句碑に飛花落花 | 我が庭の散る花咲く花為すがまま | 数へつつ磴登りゆく遍路杖 | 春潮の香りここまで蟹の墓 | 霊峰の不動を押し残る花 |
| 三根香南 | 山岡仁美子 | 横井加織 | 森 敦子 | 平岡春風 | 小谷恵美子 | 木下圭子 | 片山紀子 | 岡田恭子 | 大継淳子 | 江川隆子 | 泉 栄子 |



国際ソロプチミスト認証式 1986. 5. 29 於 兵庫県立淡路勤労センター

「原節子さんを想う」

木下 圭子

原節子さんは何より仕事が好きであった。「趣味は何？」と質問するといつも「し・ご・と」と答える。しかし国際ソロプチミスト活動には熱心であった。常にグローバルに物事を考えていた。奉仕活動には熱心であった。淡路島の女性経営者として、社会進出の第一人者であった。仕事のための自分の人生を振り返り、これではいけないと考えられる時もあった。花のアレンジメントを習い始めた。しかし、彼女は仕事人。株式会社サカイハラの制服を着て、社員を纏める姿が原節子さんには一番似合っていたように思う。よく衝突もしたが、次に会えばけろっとしている女性であった。皆に愛されていた。ナーブでの生活でも、規律正しい生活であった。いつも昼夜の別をはっきりさせ、おしゃれを忘れなかった。にこやかに私の訪問を喜んでくれた。枕元には文芸春秋が毎月新しいのが置かれていた。常に学ぶ姿勢を大切にされていた原節子さんであった。



「親愛なる節ちゃんへ」

三根 香南

今朝、門口に赤とんぼを見かけました。そして我が家の庭には揚羽蝶も。何を見ても節ちゃんの御霊かと思えます。そうそう、いまはお盆の最中、夜空にはお月様が輝いていて貴女の声が聞こえてきそうです。

ご両親を大切にされていた節ちゃんはお墓参りをよくしていましたね。あの過酷な石けん造りの最中、合間を見ては千福寺へ行っていたのを思い出しました。

共に昭和 16 年 11 月生まれの戦中、戦後を生き、思い出を共有した仲間です。

傘寿を目前にして長生きしようねと、桂浜の初日を拝んだのが最後になりました。

体調を崩されても、命尽きるまでソロプチミストの友情と奉仕の心と持ち続けた貴女の心根は私たちの道標であり、誇りです。

来年のお盆にはまたお会いしましょう。



「原節子会員を偲んで」

山岡 仁美子

月日の経つのは本当に早いもので、節ちゃんとの永久の別れからもう初盆を迎える頃になりました。思い起こせば随分と永いお付き合いをさせて頂きました。国際ソロプチミスト淡路誕生の半年程前からでしたから。

初めて親クラブの SI 神戸の方々とお会いし認証までには、難問題が多々有り右往左往しましたが、男前の貴女は有無を言わず、ぐいぐいと私達を引っ張り見事誕生させ 36 年になりました。淡路クラブには特別の熱い思いを共有して来ましたね。泣いたり笑ったりしながらも、ソロプチミストの神髄“真摯なる友情・偉業達成の喜び・奉仕の尊さ”を実感しソロプチミストで良かった！と。節ちゃんの口癖「死ぬまでソロプチミストは辞めたらあかん！」を見事実行されました。

どうぞ安らかに。

風音に友の聲聴く螢の夜 仁美子

「2021 年度役員名簿」



| | | |
|--------|-----------|-------------------|
| 会 長 | 正本 日登美 | |
| 会長エレクト | 北平 としみ | |
| 副 会 長 | 平川 紅仁子 | |
| セクレタリー | 樫本 揚子 | 小川 はるみ(コレスポンドイング) |
| トレジャラー | 谷村 雅美 | 高島 久美子(アシスタント) |
| 理 事 | 正司 昌代 | 三原 潤子 |
| デレゲート | 江川 隆子(1年) | 木下 壽子(2年) |

1年間お疲れ様でした

「2022 年度役員名簿」

| | | |
|--------|-----------|-------------------|
| 会 長 | 北平 としみ | |
| 会長エレクト | 泉 栄子 | |
| 副 会 長 | 木下 圭子 | |
| セクレタリー | 小川 はるみ | 清木 なぎ子(コレスポンドイング) |
| トレジャラー | 樫本 揚子 | 片山 紀子(アシスタント) |
| 理 事 | 正本 日登美 | 大継 淳子 |
| デレゲート | 木下 壽子(1年) | 山岡 仁美子(2年) |

よろしくお願ひ致します



「編集後記」

泉 栄子

2021 年度の国際ソロブチミスト淡路の活動は、コロナ禍のため9月の理事会、例会が Zoom 会議での幕開けとなりました。

10 月の移動例会は、久しぶりの対面での会議が行うことができました。

11 月には私たちが再会を心待ちにしていた原 節子会員との悲しいお別れがありました。

12 月の通常例会も対面にて開催されましたが、感染者数の急増により、翌年 1 月の新年例会は、Zoom 例会に変更となりました。

以降 2 月、3 月は Zoom にて。4 月ようやく、淡路信用金庫研修会館にて対面での例会が可能となりました。

そんな中で、高津 信子会員、仲野 弘子会員が続けて退会され、本当に寂しい気持ちでいっぱいです。

広報委員会にとっても、なかなかお会いすることが出来ない中、写真もいつもよりは少なく、編集には苦労しましたが、お陰様で「HOHOEMI 30 号」を発行することが出来ました。

これも、会員の皆様のご協力によるものと委員一同、深く深く感謝いたします。ありがとうございました。

広報委員会一同（泉委員長・北平・岡田・森）

